



株式会社 田中コンピューターサービス

〒114-0023
東京都北区滝野川7-45-14
TEL 03-3576-7272 / FAX 03-3576-7272
URL <http://tanaka-cs.co.jp>

Company data

代表取締役
田中 秀宗

山口県出身。IT企業に10年ほど勤め、ソフトウェア開発などに携わる。その後は建設業界に転身、6年ほど勤務するなかでCADの翻訳に携わったことからIT開発への思いが再燃。2014年3月に(株)田中コンピューターサービスを設立した。

Personal data



IT技術者の労働環境改善を目指し 100年後も残る新しい価値を創造

川崎 ソフトウェア開発をされているとか。どんな経緯で起業されたのでしょうか。田中 建設会社にいたとき、社長から「安価で性能の良いCADソフトを探してほしい」と依頼されました。かつてITエンジニアだった私はQCADという海外製のソフトを取り寄せ日本語にカスタマイズしているうち、「ものづくりの情熱」に火がついたんです(笑)。

川崎 技術者魂を揺さぶられたのですね(笑)。現在ではどのような業務を?

田中 主に自治体向けの「生活保護システム」をオープンソースで構築しています。生活保護費の計算式はとても複雑なのですが、それを手計算で行っている自治体もあるくらいですので、条件入力のみで簡単に計算できるソフトを作りました。最初にこのソフトを作った会社勤務

時代には、会津若松市などに納品させて頂き、喜んで頂くことができました。

川崎 「オープンソース」というのは?

田中 ベースとなるプログラムのソースを誰でも応用できるよう公開する仕組みです。誰でも応用することができますが、変更した場合にはそれを公開するというのが1つのルール。応用と変更を繰り返すことで、性能をさらに充実させていくという狙いがあるのです。

川崎 せっかく開発したプログラムを公開したら、競合他社が増えてしまうことになりませんか?

田中 私はそれでいいと思っています。元々IT業界は大企業が独占しているのが実情で、我々のような中小企業が切り込むには個々のノウハウを持ち寄って対抗していくほかありません。また、企業

に勤めるITエンジニアは、とかく長時間労働を強いられがち。そのような仲間の起業を応援し、もっと時間的・金銭的余裕を得られる生活を手に入れてほしいという願いもあるのです。

川崎 度量が大きいですね。それに異なる得意分野を持つ人々が集まれば、可能性は広がるかもしれません。

田中 はい、特に福祉や医療方面での応用は可能だと思っています。そうして枝葉が広がっていき、私1人では到底不可能なものが生み出せば嬉しいですね。年を重ねてもIT業界で活躍できる仕組みでもあると思います。

川崎 全てがデジタル的なイメージのあるIT業界にあって、アナログな人情味を感じられて新鮮です。

田中 様々な用途で使用されているオープンソース「Linux」を開発したリーナス・トーバルズ氏は私は尊敬しており、彼のようにオープンソースを普及させていく活動をしたいと思っています。シンプルなプログラムを書き、部品として使える部分と業務に使える部分を切り離すことで、多くの人に役立ててもらいたいです。日進月歩の業界ですが、私の書いたプログラムが100年先も残っていれば嬉しいですね。お金は残らなくても、私の名前が残れば本望です(笑)。



Guest Comment
川崎 麻世 (俳優)

「お金ではなく名前を残したい」と語られた田中社長の話を聞いて、「人生には3つのものがあればいい。希望と勇気とサムマネー」というチャップリンの名言を思い出しました。社長は山口県出身だそうですが、志士の気概を多分に受け継いでおられるように思います。